

(都市基盤・防災) 分野における取り組みの方向性について

提起された政策課題

- 広域交通基盤の整備
- リニアを見据えた都市機能強化
- 先端の環境性能を備えた都市基盤
- 災害に強い社会システム

目指すべき姿

リニア中央新幹線の東京～名古屋間の先行開通で形成されるわが国最大の都市圏の中で存在感を発揮できる「世界に開かれた安全・快適な地域」

取組方向

リニア中央新幹線の利便性を圏域全体で受けられる広域交通網の整備

- ・名古屋駅のターミナル機能の強化と名古屋駅を中心としたまちづくりの推進
- ・鉄道交通ネットワークの改善による圏域内の利便性の向上
- ・圏域の高速道路のアクセス・利便性の向上

アジア随一のゲートウェイとしての空港・港湾機能の強化

- ・中部国際空港の機能強化と完全24時間化の実現
- ・名古屋港・三河港・衣浦港の特色をいかした機能の強化
- ・中部国際空港や名古屋港からの交通アクセスの向上による後背圏の拡大

都市機能の集積・ネットワーク化による都心の魅力向上と住みやすい地域の実現

- ・スマートシティの推進
- ・集約連携型都市構造の推進
- ・広域連携による都市機能・交流機能の強化

南海トラフ巨大地震など大災害に耐えるレジリエンシー(強靱性)の確保

- ・基幹的広域防災拠点施設の整備(三の丸地区・名古屋港・県営名古屋空港)
 - ・帰宅困難者対策など名古屋都心の防災機能の向上
 - ・都市基盤施設のリダンダンシー(※)確保による社会・経済活動への影響の最小化
- ※リダンダンシー：自然災害等による障害発生に備えて、予め交通ネットワークやライフライン施設の多重化をしたり、予備手段の確保等を行うこと。

首都機能のバックアップ



(参考) とよたエコフルタウン



(参考) 有明の丘基幹的広域防災拠点施設